

スペース・トランスフォーメーション (SX) 実現に向けた衛星データ活用セミナー in 名古屋

◆開催概要

日 時： 2024年3月1日(金) 13時30分～18時00分 (※受付・入場開始：13時00分)
会 場： 愛知県産業労働センター (ウイंकあいち) 11階 1102会議室
愛知県名古屋市中村区名駅 4-4-38
参加費： 無料 (事前登録制)
主 催： 株式会社パスコ
共 催： 株式会社 NTT データ / 一般社団法人リモート・センシング技術センター
事務局： 株式会社デジタルブラスト

登壇者：

13時30分～ 第1部 (プレゼンテーション)

「日本における宇宙開発の針路と最新利用動向 (仮)」

- 池田 宗太郎 氏 (文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用課 課長補佐)
- 山崎 航 氏 (国土交通省 大臣官房 技術調査課 課長補佐)
- 松尾 尚子 氏 (JAXA 第一宇宙技術部門衛星利用運用センター 技術領域主幹)
- 加藤 正人 氏 (信州大学 農学部 森林計測・計画学研究室 特任教授)

14時50分～ 第2部 (パネルディスカッション)

「光学衛星データを活用した行政 DX 実現への現在地と課題感 (仮)」

- 筒井 健 氏 (株式会社 NTT データ ソーシャルイノベーション事業部 部長)
- 古田 良一 氏 (一般財団法人リモート・センシング技術センター 研究開発部 部長)
- 山本 耕平 氏 (株式会社パスコ 衛星事業部 事業推進部 主任技師)

<司会進行>

- 榎本 麗美 氏 (宇宙キャスター)

本セッションでメッセージを届けるべきメインターゲット（案）

- ① 将来的に先進光学衛星のユーザーになり得る官公庁・自治体・地方ビジネス関係者など、とりわけ愛知県・名古屋港湾エリアを重点的な対象として参加募集。
- ② 衛星に代表される宇宙利用ビジネスで「農業・都市・防災・森林・土地利用」など幅広い分野の課題解決を担う方々（＝現場）の参加を募る。
- ③ 上記分野のうち防災においては数十年以内の発生が科学的に想定されている「南海トラフ巨大地震」を意図し、政策関係者に対して能登半島地震の実例を交えながら衛星活用の有用性を発信する。
- ④ その他、衛星データを高度に利活用した行政・まちづくりの DX を実現するためデータ活用・デジタル化インフラ整備などに取り組む政策関係者を対象とする。

参加者に期待するネクストアクション（例）

- ① 衛星データ活用に関するコミュニティ（CONSEO など）に参画し情報収集に努める（難易度：低）
- ② 各々の抱える課題について主催関係者・登壇関係者などと個別相談の場を設ける（難易度：低）
- ③ データ利用の促進に努める（難易度：中～高）
 - 地域行政や産業課題解決に取り組む具体的なプロジェクトの立ち上げ（スマート農業や土地利用・防災計画更新など）
- ④ デジタルツイン技術開発への参画（難易度：中～高）
 - 3次元地形データをもとにしたデジタルツイン生成に向けた技術開発や利用実証
- ⑤ その他

セミナーを通じたメッセージ（案）

- ① 衛星データの有用性と可能性
 - 衛星データは「農業・都市・防災・森林・土地利用」など幅広い分野の「現場」で有用である。
 - 潜在的な活用方法や可能性について参加者との議論を交えて提案する。
 - 例：名古屋港の CAD データをどう業務で利活用する？
- ② 南海トラフ巨大地震への備え
 - 防災・まちづくり関係者に対して南海トラフ巨大地震への意識を高め、衛星データの有用性を伝える。
- ③ データ活用と DX 推進の重要性
 - 衛星データを高度に利活用した行政 DX やまちづくりにはインフラ（技術基盤・人材）の整備が不可欠。
 - データドリブンな施策の重要性を強調する。

タイムスケジュール案：

開始	～	終了	所要	登壇者	内容	備考
オープニング						
13:30	～	13:33	3	司会 榎本 麗美	開会アナウンス	
13:33		13:38	5	パスコ 古田 城久	開会挨拶	
第1部：日本における宇宙開発の針路と最新利用動向（仮）						
13:38		13:40	2	司会 榎本 麗美	第1部 登壇者・プログラム紹介	
13:40		13:50	10	文部科学省 池田 宗太郎	●●●●● (スターダストの全体像、衛星利活用に政府・国として取り組むポイント、など)	
13:50		14:00	10	国土交通省 山崎 航	●●●●● (国交省内での衛星事業の紹介、など)	Online 登壇
14:00		14:20	20	JAXA 松尾 尚子	●●●●● (CONSEO=産官学連携での衛星利用活性化、次期衛星計画とスペース・トランスフォーメーション実証プロジェクトの関係性、など)	
14:20		14:50	30	信州大学 加藤 正人	●●●●●	
14:50		14:51	1	司会 榎本 麗美	休憩前アナウンス	
休憩（14min） / レイアウト変更						
15:05		15:06	1	司会 榎本麗美	第2部 登壇者・プログラム紹介	
15:06		15:21	15	NTT データ 筒井 健	●●●●●	
15:21		15:36	15	RESTEC 古田 良一	●●●●●	
15:36		15:56	20	パスコ 山本 耕平	●●●●●	
15:56		15:57	1	司会 榎本 麗美	アナウンス (松尾様→席移動)	
15:57		16:35	33	4名 + 榎本 麗美	パネルディスカッション (JAXA・NTT データ・RESTEC・パスコ)	
16:35		17:05	30	4名 + 榎本 麗美	来場者からの質問受け付け	
17:05		17:06	1	司会 榎本 麗美	繋ぎアナウンス	
17:06		17:11	5	文科省 池田 宗太郎	総括コメント	
17:11		17:16	5	パスコ 古田 城久	閉会挨拶	
17:16		17:18	2	司会 榎本 麗美	閉会アナウンス アンケート回答依頼	

パネルディスカッション 質問・討議トピック

- ※ 以下の質問項目を中心に、議論の展開や深堀などを踏まえて、モデレーターの判断によりディスカッションを進行する。
- ※ 全員に発言していただくことを考慮しつつ、聴講者の関心を引く話題を中心に展開

① トピック：名古屋地域の防災と衛星データ活用のこれまで・これから

話題例

- 能登半島地震における衛星データ活用事例
- 南海トラフ巨大地震の予測・対策・復興計画策定と3次元衛星データ
- AI・衛星データを活用した防災対策の可能性
- **自治体の現場を強くするデジタルインフラ整備**

想定回答

- JAXA 松尾様
- NTT データ 筒井様
- RESTEC 古田様
- パスコ 山本様

② トピック：光学衛星データを活用した行政DX（=SX）実現への現在地と課題感

話題例

- インフラ整備と人材育成の重要性
- AI・衛星データを活用した行政DX事例
- 現在の光学衛星データの利用状況と課題
- **データ活用の期待値と適正值**

想定回答

- JAXA 松尾様
- NTT データ 筒井様
- RESTEC 古田様
- パスコ 山本様

③ トピック：来場者へのメッセージ

※来場者質疑応答（16:35~17:05）の後で